

## 平成27年度 小山町立須走幼稚園評価「自己評価書」

### 1 教育目標

目の輝く須走っ子

- ・自分を発揮できる子
- ・思いやりのある子
- ・元気に遊ぶ子

### 2 重点目標及び具現の方策

「聴く子の育成」

(具現の方策)

- ・幼児一人一人の思いに寄り添い、その子なりの特性や発達を捉え、自己発揮できる援助を工夫する。
- ・様々な直接体験や感動体験を通し、教師や友達の話に興味・関心をもって耳を傾けられるような保育を考える。
- ・家庭や地域（人や物）とのつながりを密にし、教育効果を高める。

### 3 項目別評価

評価項目	項目別評価	評価の理由	職員アンケート結果	保護者アンケート結果
保育計画・教育課程	A		A	A
保育指導	B	さらに質を高め次年度につなげていきたい	B	A
保健管理・食事	A		A	A
安全管理	A		A	A
特別支援教育	A		A	
組織運営・情報管理	A		A	A
研修	B	研修回数はやや満足しているが方法、内容に検討が必要。	B	
教育目標・園目標	B	園の行事等の意味、ねらいを保護者にわかりやすく説明し理解を求める必要があった。	B	B
情報提供	A		A	A
保護者・地域との連携	A		A	A
子育て支援	B	積極的な働き掛けに欠けていた。	B	B
施設・設備	B	生活しやすい、遊びやすい環境がやや不足していた。	B	A

- (注) 1 評価表示方法「A：十分達成されている、B：達成されている、C：取り組まれているが、成果が十分ではない、D：取組が不十分である」
- 2 「職員アンケート結果」は、項目別評価用アンケートを集計したものである。
- 3 「保護者アンケート結果」は、項目別評価用アンケートのうち「わからない」と回答したものを除いて集計したものである。
- 4 「項目別評価」は、「職員による評価」及び「保護者による評価」をもとに、職員で話しあって決定したものである。

#### 4 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組み方法
園内研修の充実と効果の向上	園内研修の必要性から取り組むことへの意識は向上できたが、内容の検討が必要である。経験年数にも差があるが、それぞれの立場から意見を出し合い、全員が参加するという意識をさらに高めたい。
保育指導の充実	保育計画の見直しをし、子どもの遊びの充実を図る。また、週案・日案・評価を継続していく。
地域・保護者との連携の強化	地域を保育に取り入れることに消極的だった。須走という地域もあり難しい面もあるが、意識だけはしっかりもっていききたい。

#### 5 評価全体を通して

- ・自分自身の保育を振り返る、また、園全体の経営を振り返るよい機会である。今回の評価を次回に活かし、質の向上につながるよう積み重ねていきたい。
- ・自園の評価が低かった項目に関しては、保護者からも同様な評価をもらっている。そこをしっかりと受け止めて取り組む必要がある。
- ・前回の評価項目の中で、『保健指導』に取り組むべき課題が見えた。その後職員で話し合う機会を作り改善に努めた。その結果、今回は保護者からもそれなりの評価をいただくことが出来た。これは、評価の成果で職員にとっても大きな励みである。今回の課題も次年度につなげていきたい。